

合評会「知識と情報の中国政治史」のお知らせ

今年に入り、2月に比護遥さんの『近現代中国と読書の政治』が東京大学出版会より、6月には周俊さんの『中国共産党の神経系——情報システムの起源・構造・機能』が名古屋大学出版会より、それぞれ出版されました。現代中国研究センターでは、若手研究者の二著に対する合評会を本年9月13日に開催することにいたしました。詳細は下記のとおりです。気鋭の挑戦的な著書をどう読むか、著者のお二人を交えて議論したいと存じますので、皆さまふるってご参加ください。

合評会「知識と情報の中国政治史」

比護遥著『近現代中国と読書の政治
——読書規範の論争史』

周俊著『中国共産党の神経系
——情報システムの起源・構造・機能』

日時：2024年9月13日（金） 13時～17時

場所：人文科学研究所本館大会議室

13時～13時10分 趣旨説明

『近現代中国と読書の政治——読書規範の論争史』
に対して

13時10分～13時35分 大澤聡（近畿大学）

13時35分～14時 鈴木将久（東京大学）

『中国共産党の神経系——情報システムの起源・
構造・機能』に対して

14時～14時25分 林載桓（青山学院大学）

14時25分～14時50分 丸田孝志（広島大学）

14時50分～15時10分：休憩

15時10分：著者からの応答。討論

事前申込み不要

オンライン中継はありません

会場参加のみとなります

